

## 1. 学習船「うみのこ」

「うみのこ」は、県内の全小学5年生がびわ湖フローティングスクールという琵琶湖上で1泊2日の宿泊体験を中心とした教育活動を行うために、1983（昭和58）年に就航した学習船です。2018（平成30）年より、探究的な学習の充実のために、ICT環境やデジタル機器を使った科学的な視点での学習が行えるよう新しい船での航海が始まります。全長65m、幅12mの琵琶湖では最大級の船で、児童最大定員は180名です。



写真T-1 学習船「うみのこ」  
※写真は2代目「うみのこ」

## 2. フローティングスクールのねらい

学校教育の一環として、母なる湖・琵琶湖を舞台に、「環境に主体的にかかわる力」や「自ら課題をもち協働して解決に取り組む力」をはぐくむことをねらいとしています。そのねらいに沿い、琵琶湖や郷土を教材とした体験学習および交流学習の「びわ湖学習」、学習の基盤となる大集団での規律ある「船内生活」の2つの領域で、学習活動を構成しています。また、フローティングスクールでは、学習船「うみのこ」で航海する2日間を含む、航海前から、

航海後までの一連の学習過程を一つの単元と捉え、乗船校が一貫したびわ湖学習のテーマを設定し、「びわ湖について語りびわ湖への深い愛着を持つ子」の育成に取り組んでいます。



写真T-2 多景島展望

## 3. 2日間の主な日程（代表的な例）

【航海1日目】	
	乗船
10:00	出港見学 開校式・オリエンテーション 避難訓練
12:00	昼食／船内見学
14:00	寄港地での活動（船内活動）
17:00	夕食／シャワー
19:00	「湖の子」の夕べ
	1日目の学習のまとめ
21:40	消灯・就寝
【航海2日目】	
6:00	起床・洗面・整理
7:00	朝のつどい
7:30	朝食／活動準備
9:00	船内または寄港地での活動
11:00	2日間の学習のまとめ
12:00	昼食／荷物整理
14:00	「湖の子」そうじ
14:30	開校式
15:00	下船

びわ湖フローティングスクール

## 1. 概要

2007（平成19）年度から、小学校4年生を対象に、学校教育の一環として、次代を担う子どもたちが、森林への理解と関心を深めるとともに、人と豊かにかかわる力を育めるよう、県内の「やまのこ」学習実施施設（8箇所）で体験型の環境学習を実施しています。

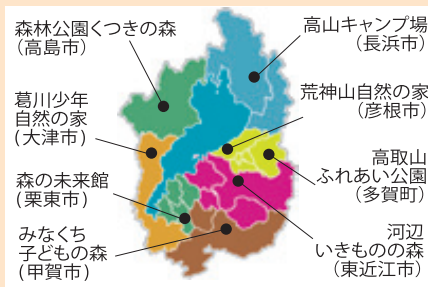
2016（平成28）年度には、県内ほぼすべての小学校235校が「やまのこ」事業に参加しました。

「やまのこ」学習は、県土の2分の1を占める森林が、琵琶湖の水源地として重要な役割を果たしてくれることに気づき、5年生のびわ湖フローティングスクール「うみのこ」の学習につなげることもねらいの一つにしています。

## 2. 目的

「やまのこ」学習では、子どもたちが実際に森林に入り、樹木や草花、あるいは森に住む生き物などに興味を持つとともに、間伐体験など森林での様々な体験学習をとおして、森林のはたらきや重要性を学ぶ

ことを目的としています。また、自然の厳しさ、危険性というものにも気づき、それに対処する力を身につけることや、ルールを守り、楽しく学習することで、互いを思いやる気持ちや協力しあう心を育むことも目的としています。



図T-1 「やまのこ」学習実施施設

## 3. 学習プログラム

施設ごとに、やまのこ専任指導員と学校が連携し、「森に親しむ学習」、「森づくり体験学習」、「森の恵み利用学習」、「森のレクチャー」などの学校ごとに特色のあるプログラムを展開しています。

また、実施にあたっては小学校ごとに事前・事後学習を実施するなど、学習の効果を高めるための取り組みも行っています。



写真T-1 間伐体験

森林政策課